

# 新庁舎等建設通信

## vol. 7

町では、現在の役場庁舎が老朽化していることに加え、大規模な地震が発生したときに崩壊の危険性があることなどから、役場庁舎の建替えと周辺施設整備を行う「新庁舎等建設事業」を進めています。

役場の移転が完了するまで、工事の状況などを随時お知らせしていきます。

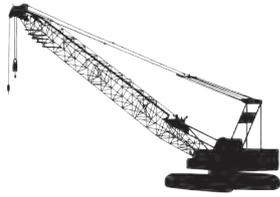
### 新庁舎等建設工事の近況

博物館別館、車庫棟については、建屋工事の大部分が終わり、外構工事に取りかかっています。

庁舎棟については、内装工事のうち、壁や天井をつくるための作業に取りかかっています。

令和7年1月の新庁舎オープンを目指して工事を進めています。現在のところ、工事全体でおよそ50パーセントが完成している状況です。

4月以降は、庁舎棟建物の内装仕上げ作業に加え、設備機器の取り付け作業に取りかかっています。ですので、次回の新庁舎等建設通信ではその様子をご報告できればと思います。

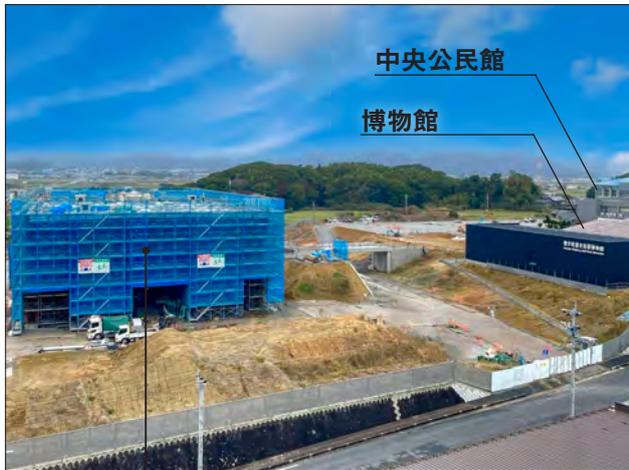


#### ● 問い合わせ

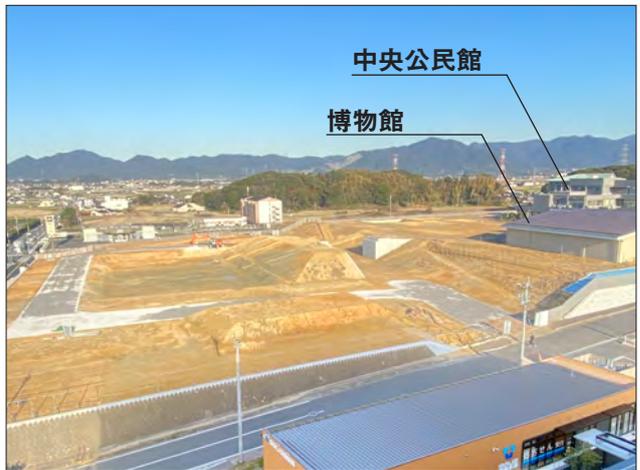
役場管財課 庁舎等建設推進係

☎ (42) 2111 まで

#### ● 令和6年3月時点



#### ● 令和5年2月時点



① 庁舎棟 内装施工状況その1



② 庁舎棟 内装施工状況その2



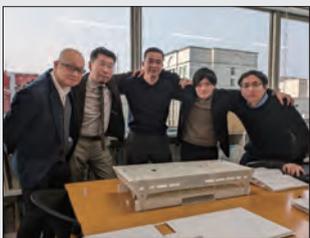
③ 庁舎棟 内装施工状況その3

## 建設に携わって

株式会社 佐藤総合計画九州オフィス  
副代表 篠原 正樹さん

### 設計・ 監理編

皆様こんにちは。新庁舎の設計と工事監理の総括をしている篠原です。早速ですが、一般的な建物とは異なる特徴的な庁舎の形に「あれっ」と思われた方も多いのではないのでしょうか。しかし、私たちは決して奇をてらつてこの形を提案したわけではありません。これからの時代は、環境とともにある社会が求められています。特徴的な大屋根は、太陽光パネルを設置することで、庁舎で日常的に必要なエネルギーの大部分をまかなうことができます。さらに、自然の風、光、雨を徹底的に活用できる形態であるため、標準的な庁舎と比べて4分の1ほどのエネルギー利用に抑えることができます。また、大屋根を活かした2階の半屋外空間には、強い日差しを遮断し、雨の日の活動をも可能とする交流の場として「くららてらす」を計画しています。「大屋根のもとにみんなが集うー環境共生庁舎」という新庁舎計画のコンセプトを実現していくため、関係者一丸となって最後まで熱量を持って取り組むたいと思います。



設計・監理チームの皆さん

皆様の総括を任せている篠原です。早速ですが、一般的な建物とは異なる特徴的な庁舎の形に「あれっ」と思われた方も多いのではないのでしょうか。しかし、私たちは決して奇をてらつてこの形を提案したわけではありません。これからの時代は、環境とともにある社会が求められています。特徴的な大屋根は、太陽光パネルを設置することで、庁舎で日常的に必要なエネルギーの大部分をまかなうことができます。さらに、自然の風、光、雨を徹底的に活用できる形態であるため、標準的な庁舎と比べて4分の1ほどのエネルギー利用に抑えることができます。また、大屋根を活かした2階の半屋外空間には、強い日差しを遮断し、雨の日の活動をも可能とする交流の場として「くららてらす」を計画しています。「大屋根のもとにみんなが集うー環境共生庁舎」という新庁舎計画のコンセプトを実現していくため、関係者一丸となって最後まで熱量を持って取り組むたいと思います。



株式会社  
AXS 佐藤総合計画